

平成23年度 第1回いすみ市地域公共交通会議及び活性化協議会 会議録

日 時 平成23年9月22日(木) 午後1時30分～

場 所 いすみ市役所大原庁舎4階 議員控室

出席委員(12名)

いすみ市長		太田 洋
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官(企画調整担当)	岩崎 英一	
千葉県いすみ警察署交通課長	大川 博	
社団法人千葉県バス協会専務理事	花崎 幸一	
千葉県タクシー協会そとぼう支部長(有限会社東タクシー)	大木 義久	
元市内交通システム調査委員会会長	丸嶋 登	
元市内交通システム調査委員会委員	國藤 清三郎	
元市内交通システム調査委員会委員(副会長)	野村 泰信	
学識経験者(会長)	浅野 和夫	
学識経験者	松本 啓吉	
一般乗合旅客自動車運送事業者(都自動車株式会社)	北里 健一	
一般乗合旅客自動車運送事業者(小湊鉄道株式会社)	平野 孝之	

代理出席(4名)

千葉県総合企画部交通計画課交通企画室長	代理 副主幹	伊藤 正文
千葉県県土整備部夷隅土木事務所長	代理 次長	北田 幹雄
いすみ鉄道株式会社社長	代理 総務部長	高橋 清
一般乗合旅客自動車運送事業者(千葉中央バス株)	代理 営業部長	広渡 信彦

欠席委員（3名）

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官（輸送監査担当）	池田 和弘
東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	太田 義孝
タクシー事業者代表（浪花タクシー有限会社）	松本 眞

事務局（3名）

総務部企画政策課長	田中 一成
総務部企画政策課企画班副主幹	関 静男
総務部企画政策課企画班主査補	荘司 照雄

議題

- （1）会長及び副会長の選任について
- （2）市内バス乗車実績について
- （3）デマンド交通乗車実績について
- （4）地域公共交通確保維持改善事業について
- （5）その他

開 会

市長あいさつ

出席者紹介

事務局（関 静男）

それではこれより議題に移らせていただきます。本日の会議は任期満了後の最初の会議となりますので、はじめに会長並びに副会長の選任をお願いしたいと思います。

選任につきましてはお配りした資料1-1をご覧ください。いすみ市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に会長及び副会長は委員の互選により定めると規定されております。選任されるまでの間、臨時議長を太田市長をお願いしたいと思いますので、市長におかれましては臨時議長席に移動をお願いしたいと思います。

議題（1）会長及び副会長の選任について

臨時議長（太田 洋）

ご指名でございますので、しばらくの間議長を務めさせていただきます。

早速議事に入らせていただきます。「議題（1）会長及び副会長の選任について」を議題といたします。委員皆様よりなにか案がございましたら承ります。いかがでしょうか。

委員（丸嶋 登）

会長及び副会長の選任についての案でございますが、会長といたしまして「浅野和夫委員」、副会長に「野村泰信委員」推薦いたしたいと思います。

臨時議長（太田 洋）

ただいま丸嶋委員より、会長に「浅野和夫委員」副会長に「野村泰信委員」の推薦がございましたが、委員の皆様のご承認をいただければご両名にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

（異議なしとの声あり）

臨時議長（太田 洋）

ありがとうございました。異議なしとのことですので、ご両名に会長並びに副会長をお願いしたいと思います。

以上をもちまして、臨時議長の職を終了させていただきます。

事務局（関 静男）

ありがとうございました。それでは、浅野会長並びに野村副会長には会長席並びに副会長席に移動願います。

それでは、会長に選任されました浅野様、並びに副会長に選任されました野村様よりご挨拶をいただきたいと思っております。はじめに、浅野会長よりお願いいたします。

会長（浅野和夫）

浅野です。よろしくお願いいたします。

先ほど市長よりお話があったとおり、これから高齢者がますます増えていくなかで、交通弱者救済ということで、この交通会議の中で議論を重ねながら、市民のためになる会議としたいと考えております。よろしくお願いいたします。

事務局（関 静男）

ありがとうございました。続きまして、野村副会長よりお願いいたします。

副会長（野村泰信）

ご紹介いただきました野村でございます。

今後は、会長を補佐いたしまして、当会議の運営に務めたいと考えておりますので、な
にぶんのご指導とご協力ほどお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。

これからもよろしくお願いいたします。

事務局（関 静男）

ありがとうございました。これ以降の議事進行につきましては、本会議設置要綱第6条
第1項に規定によりまして、浅野会長にお願いしたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

議題（2）市内バス乗車実績について

会長（浅野和夫）

それでは、早速議題に入らせていただきます。

議題（2）「市内バスの乗車実績について」事務局より説明願います。

（事務局説明）

議長（浅野和夫）

ありがとうございました。ただいま説明のありました市内バスの乗車実績につきまして
委員の皆様から質問等がございますか。

委員（丸嶋 登）

利用実績の中で、いすみシャトルバスの利用実績がだいぶ減少しているようですが、この減少の理由については何か掴んでいますか。

事務局（荘司照雄）

現在のところ数字的な裏付けとなるものはございませんが、運行事業者より伺ったところでは、茂原方面に通学する学生の減少と、昼間茂原方面にパート等で勤務される方の減少が見受けられると聞いておりますので、それらが減少の理由であると考えております。

委員（丸嶋 登）

わかりました。

議長（浅野和夫）

続いてご質問ございませんか。

委員（岩崎英一）

同じく、先ほど説明いただいた東海線につきましても利用者が減少していて、存続も含めて今後検討ということでありましたが、こちらにつきましても理由として何か掴んでいますでしょうか。

事務局（荘司照雄）

本日、路線図を添付させていただいておりますが、こちらをご覧くださいますと東海線のルートと並行して市内循環線が走っております。市内循環線の利用者が増えている中で、運行ルートが似ているということで、この辺が影響しているものと考えております。

委員（岩崎英一）

了解です。

議長（浅野和夫）

他にございますか。

委員（松本啓吉）

大多喜高校の生徒さんの国吉駅の利用者が増えているという説明がございましたが、いすみ鉄道ではどのように捉えておりますか。

代理委員（高橋 清）

大多喜高校はクラスが削減されたり、生徒数が減少しているにもかかわらず、いすみ鉄道の定期券利用者数は減少していない状況です。事務局より説明があったように、国吉駅利用の定期券、学生さんが増えています。その原因は私どもでは正確なところは掴みきれないところではありますが、おそらく今ご説明があったように、バス運行が安定的に設定されたということで、このおかげで親御さんも安心して、バスを利用していすみ鉄道に乗車というルートで通学できるようになったものと捉えています。

委員（松本啓吉）

ありがとうございました。

議長（浅野和夫）

その他にございますか。

議長（浅野和夫）

ご質問ないようですので、議題（２）に移らせていただきます。

議題（３）デマンド交通乗車実績について

議長（浅野和夫）

議題（３）「デマンド交通乗車実績について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

（事務局説明）

議長（浅野和夫）

説明が終わりました。委員の皆様から質問等がございますか。

委員（岩崎英一）

今説明いただいた中で、デマンドで利用者が伸びているというのはなかなか県内でも無いところですけども、その中の要因としまして、サービスの改善とワゴン車の導入という話がありましたが、具体的にサービスの改善とはそのようなものがあつたのか、参考までに教えていただきたいと思います。

事務局（荘司照雄）

事務局としては改善点として、従前はタクシー型車両での運行であったわけですが、ドア・ツー・ドアということで、各家庭等の玄関先でドアを開けて乗車を待つということ聞いておりましたが、その後私どもも現在での状況を見させていただきましたところ、病院等におきまして運転手さんがワゴン車の後部乗降口に降りまして、乗車の介添

えをしている状況も確認させていただいております。このようなこともありますし、利用者から電話にて感謝の報告も受けたことがございます。このような点も改善点であると考えております。

委員（岩崎英一）

ありがとうございました。

議長（浅野和夫）

ほかに、質問ございますでしょうか。

なければ、次に進ませていただきます。

議題（４）地域公共交通確保維持改善事業について

議長（浅野和夫）

議題（４）「地域公共交通確保維持改善事業について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

（事務局説明）

議長（浅野和夫）

説明が終わりました。委員の皆様から質問等がございますか。

代理委員（伊藤正文）

資料の４－２、資料の４－３に共通するのですが、３ヵ年計画のそれぞれの利用者数、増加数が２，０００人ずつ増ということですが、この算定根拠を教えてくださいましてし

ようか。

事務局（荘司照雄）

この目標設定の数値ですが、この補助対象系統のそれぞれの年度ごとの実績がございまして、平成20年度と平成21年度の乗車人員の伸びが、その際は7,800名程度でございました。その次の21年度と22年度を比較しますと3,200名増加しております。今年度増便・延伸を実施したことにより、だいぶ利用者のほうは増えている状況ではありますが、今後はさほど多くの増加は見込めない状況と考えるので、毎年度2,000人の増加を目標として記載させていただいたところでございます。

代理委員（伊藤正文）

わかりました。

議長（浅野和夫）

ほかにございますか。

委員（大木義久）

タクシー協会そとぼう支部の東タクシーです。タクシー業界への影響について、配慮等お考えがございしますが。

事務局（荘司照雄）

バスの試行運行を開始する時点において、タクシー事業者さんには説明会を実施させていただいておりまして、駅に乗り入れる件もございましたので十分協議した中で実施させていただいております。

委員（大木義久）

いすみの中で問題はないということでしょうか。

事務局（荘司照雄）

特別問題はないと考えております。

議長（浅野和夫）

よろしいですか。

委員（太田 洋）

市としてもタクシー業界の皆様と共存共栄しようという考えがあります。今、福祉タクシー事業を実施しております。補助が1回1,300円の券を24回分を配付しております。これで予算が4,500万円ほどとなっております。これで地元のタクシー業界の方は、高齢者等にかかる福祉タクシー事業によって少しは潤っているものと思っています。

今、市で検討しているのは日中独居の方に福祉タクシー券を渡せないものか協議検討しております。しかしながら、実際にはたくさんいるのですが、何処の家庭が日中独居か調査が難しいところです。そのような中で、市がバス運行を行っていますが、業界に還元しておりますので、ご不満は無いものと思っております。

委員（大木義久）

わかりました。

事務局（荘司照雄）

千葉運輸支局の岩崎首席から何かご助言を願いできますでしょうか。

委員（岩崎英一）

事務局より説明がありましたので、大方ご理解いただけたものと思っておりますが、今までの総合事業と大きな違いを一つ申し上げますと、地域の足の問題で本当に困っているところ、足の確保に維持確保に補助をしようとするもので、地域の活性化や利用促進への補助ではありませんのでご承知をいただきたいと思えます。

タクシー事業者さんからの質問もあったところですが、今回の事業では地域公共交通バリア解消促進等事業というものもございます。その中では、市長からもお話がありましたが、福祉タクシーの導入を支援する補助もございます。一定の基準を満たし、車椅子などが乗せられる車両につきまして導入の補助をさせていただくことも実施しております。地域で福祉タクシーの導入につきまして、事業者さんへの直接の補助ということになりますけれども、この協議会の協議を利用して申請することができますのでご承知おきいただきたいと思えます。

総合事業につきましては、3年間の期間を付しての補助でありましたが、今回のスキームに関しましては、制度が変わらない限り恒久的に赤字に対する支援を実施するものがございますので今一度補足させていただきます。

議長（浅野和夫）

それでは、平成23年度及び平成24年度のいすみ市生活交通ネットワーク計画につきまして承認することにご異議ございませんか。

（異議なしとの声あり）

議長（浅野和夫）

ご異議ないようですので、承認することにいたします。

議題（５）その他

議長（浅野和夫）

最後にその他にはありますが、なにかございますか。

他になければ、これで終わりにしたいと思います。ご苦労さまでした。